
モルゴーア・クアルテット（弦楽四重奏）

Morgaua Quartet, Strings Quartet

モルゴーア・クアルテット(Morgaua Quartet)は、ショスタコーヴィチの残した 15 曲の弦楽四重奏曲を演奏するため 1992 年秋に結成された弦楽四重奏団。

2001 年 1 月の第 14 回定期演奏会でショスタコーヴィチの残した弦楽四重奏曲全 15 曲を完奏。

ショスタコーヴィチ没後 40 年(2015)から生誕 110 年(2016)をつなぐ「ショスタコーヴィチ弦楽四重奏曲全 15 曲演奏会」を 2015 年大晦日から 16 年元旦にかけて「横浜みなとみらい小ホール」で開催。瞠目のプログラムで多くの聴衆を集めた。

2023 年から 24 年にかけて「演奏活動 30 周年演奏会」をオール・ショスタコーヴィチ、オール・ロック、過去 53 回の定期演奏会プログラムから再演希望曲をアンケートし、そのリクエストに沿った演奏会を 2 回行い話題を呼んだ。

2012 年から 17 年に日本コロムビアからリリースした、荒井英治編曲のプロGRESSIV・ロック・アルバム《21 世紀の精神正常者たち》《原子心母の危機》《トリビュートロジー》により、ボーダーレスな弦楽四重奏団としても高い評価を受ける。

2017 年 9 月「第 47 回 JXTG 音楽賞洋楽部門 本賞」、2018 年 6 月「第 28 回みんゆう県民大賞 芸術文化賞」などを受賞する。

- 第 1 ヴァイオリン：荒井英治（元東京フィルハーモニー交響楽団 ソロコンサートマスター）
- 第 2 ヴァイオリン：戸澤哲夫（東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 コンサートマスター）
- ヴィオラ：小野富士（元 NHK 交響楽団次席ヴィオラ奏者）
- チェロ：藤森亮一（NHK 交響楽団首席チェロ奏者）

（令和 7 年 8 月現在・転載禁止）